

【氏名】田中一徳(タナカ カズノリ)

【職名】教授(幼児・児童教育学科 幼児保育コース)

【学位】修士(教育学)

【生年月日】昭和 45(1970)年 7 月 17 日

【本学就任】平成 21(2009)年 4 月 1 日

【略歴】東京学芸大学教育学部人間科学課程生涯スポーツ専攻コミュニケーションスポーツ選修卒業

東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻生涯スポーツ講座コミュニケーションスポーツ分野修了

【専門分野】ウエルネス、野外教育、体験学習、生涯スポーツ、レクリエーション

【担当科目】ディスカバリー北海道、健康科学、野外実習(野外体験)、スポーツ演習 A・B、

レクリエーション理論・実技・現場実習、子どもと健康、保育内容(健康)、教職実践演習、

留学・海外研修等による単位認定科目、保育実習指導 I、保育実習 I 他

【所属学会】日本ウエルネス学会、日本野外教育学会、日本登山医学会、日本体育・スポーツ・健康学会

【研究テーマ】ウエルネスをテーマとした健康行動の測定および自然体験活動に関する研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和2年度～令和6年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	共著	スノーシュー歩行および雪洞作成後の雪洞滞在時における身体的ストレスの変化	『登山医学』40	令和2年12月
論文	単著	自然を活かした園庭における遊びに関する安全教育の検討：保育者養成校における実践事例	『國學院大學北海道短期大学部紀要』38	令和3年3月
論文	共著	雪洞滞在時の手指及び足指加温が生理学的指標と主観的温度感覚に及ぼす影響	『登山医学』41	令和3年12月
論文	単著	大学構内のアウトドアキャンパスにおけるソロキャンプが保育者志望学生に及ぼす影響について：國短キャンパスアドベンチャープログラム(K-CAP)の実践事例	『國學院大學北海道短期大学部紀要』39	令和4年3月
学会発表	共著	雪洞滞在時における保温用アルミシートが身体的ストレスに及ぼす影響：内外覆いと外覆いの比較	『第44回日本登山医学会学術集会プログラム・抄録集』	令和6年6月

【令和元年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	滝川市におけるノルディックウォーキングを用いた健康教育講座の効果に関する検討	『國學院大學北海道短期大学部紀要』33	平成28年3月
論文	共著	外気温-3°Cにおける雪洞滞在時の生理的ストレスの変化	『登山医学』38	平成30年12月
論文	共著	北海道道北地方におけるアウトドアレクリエーションが大学生の気分プロフィール(POMS)およびストレスに及ぼす影響	『國學院大學北海道短期大学部紀要』36	平成31年3月
論文	共著	外気温氷点下13°Cにおける3時間雪洞滞在時の生理的ストレスの変化	『登山医学』39	令和元年12月
論文	共著	クロスカントリースキー後の雪洞滞在時における生理的ストレスの変化	『登山医学』39	令和元年12月

【最近の社会的活動】

北海道滝川市社会教育委員会 委員(平成 26.5～現在)

北海道上砂川町認定こども園等複合施設運営委員会(令和 5.3～令和 7.3)

エフエムなかそらち FM G'sky 番組審議委員会 委員長(平 26.5～現在)

そら地域活性化ネットワーク 事務局長(平成 27.6～現在)

日本ウエルネス学会 理事(平成 28.4～現在)

一般社団法人滝川国際交流協会 理事(令和元.5～現在)